

# たかといちどいだよ

平成29年8月 第23号

たかといちどい保育園



今年の夏は毎日蒸し暑い日が続きますね。体調はいかがでしょう。子どもたちはこの蒸し暑い中でも保育園では元気に遊んでいます。

ところで保護者の皆さんは子どもの頃、夏にはどのような遊びをしておられましたか。私は岡山の山の中の、川や田んぼのある小さな田舎で育ちました。夏の暑い季節には、近くの川へよく遊びに行きました。異年齢の子どもたちが集まり泳ぐのはもちろん、岩の隙間にいる魚を取ったり 笹の葉っぱで船を作って競争させたりもしていました。また、川の水は透き通っていて底が良く見えたので、「ほおずき」や石を川に沈め、潜って探す遊びが一番楽しかったことを覚えています。あまり整備されていない川の自然の中で遊び、友達とワクワクドキドキ感をたくさん味わいながら大きくなりました。危険なこともありましたがそこで学んだことがいっぱいありました。今では考えにくい時代です。夏休みはどこかに行くのではなく家の近くで、子ども同士で過ごしていたことになります。とても懐かしいです。

さて、保育園の子どもたちはこれからどのように過ごしていくのでしょうか。昔みたいに自然の中で子どもだけで過ごすことは難しいですね。各家庭ではいろいろ計画されている方もいらっしゃると思いますし、またお忙しくて何も考えていないご家庭もあると思います。それぞれの事情で違うとは思いますが、どこかへ行く、行かないではなく、家族でどうやって過ごすかが大切ではないでしょうか。普段以上にお子様にとって目を向けてみてください。そしてたくさん触れ合ってください。そうすると子どもたちが笑顔いっぱいになり、保護者の皆さんも笑顔になれるのではないでしょうか。親子で楽しい夏をお過ごしください。

越智 るみ子

## ☆保育参加☆

たかとりちどい保育園では参観日はありません。参観日という特別な保育を見ていただくのではなく、普段通りの子どもの様子を見ていただきたいと思い、保育参加という形をとっています。月初めに招待状をお配りし、お子様の誕生月に1日(午前中)保育園と一緒に過ごしていただいています。また、給食参加も兼ねており、子どもたちと一緒に食べています。

おうちの方が来ている子どもだけでなく、他の子どもたちも、とても喜んで保護者の方に積極的に関わる様子が見られます。時には「かえらないで〜!」と、とても寂しそうにする子どももいます。

小麦粉粘土遊び



## ★実際に参加された保護者の方に聞いてみました★

### ○保育参加に来てみてどうでしたか?

- 普段どのように過ごしているのかを見ることが出来てよかった。
- 給食も子どもたちと一緒に食べ、楽しかった。

### ○お子さんの姿はどのように感じましたか?

- 家と変わらず元気よく過ごしていた。
- 少し甘えてはいたが、お友だちと楽しそうに遊ぶ姿が見られた。
- 家では絶対に食べない野菜など、何でも食べているのを見てびっくりした。



給食

子どもたちはおうちの方が来てくれるのを心待ちにしています。一緒に遊んだり給食を食べたりして、楽しい時間を過ごしてくださいね♪

中丁 紗穂



## あさひぐみ



保育士やお友達と関わることを楽しいと感じ始めてきた子どもたち。「あーあー」「うーうー」と、お友達とおしゃべりする姿や声を出して笑う姿が多く見られるようになり、見ていてとても癒されます。先月から沐浴や水遊びが始まりました。初めての水遊びなので、どんな表情を見せてくれるのか気になっていましたが、保育士がじょうろで水を流すと手をかざしたり、水面をバチャバチャしたりして、楽しむ姿が見られます。また、「気持ち良いね」「楽しいね」と言葉をかけると、可愛い笑顔を見せて喜んでいきます。暑い日が続くので、体調に十分注意しながら、水遊びをすることの楽しさや気持ち良さを感じられるよう、今後も丁寧に関わっていきたいと思っています。

一人ひとりの生活リズムも少しずつ整ってきました。午睡では、月齢の高い子どもは子守唄をうたったり、トントンしたりして寄り添うと、安心して眠れるようになりました。月齢の低い子どもも一定時間眠れるようになり、目覚めてからも機嫌良く過ごすことが増えてきたように感じています。これからも、落ち着いた環境の中で安心して眠れるよう配慮していきます。

今月は、様々な感触や素材を楽しめるよう、小麦粉粘土や寒天などの夏ならではの遊びを考えています。また、沐浴やこまめな水分補給を大切に、心地よく過ごせるよう心がけます。

河原 彩夏



## ひかりぐみ



先月は待ちに待ったプール遊びが始まりました！声を上げて大喜びのひかりぐみ。顔に水がかかっても全く平気で「ばちゃばちゃー」と水面をたたいたり、「じゃー」と体に水を掛けたりしていました。また、プール遊びの他にも片栗粉のトロトロや、寒天のプルプルなど様々な感触に触れました。初めは見ていただけでしたが保育士が遊ぶ様子を見て、そっと手を伸ばし手のひらにのせたり、にぎったりして、不思議な感触を楽しみました。寒天では好きな色の寒天を選び、スプーンですくったり、カップに入れて「まぜまぜ〜」と混ぜたりしました。カラフルな寒天が美味しそうに見えたのか思わず「あーん」と口に入れそうになる可愛い姿も見られましたよ。

先日、春にみんなで植えたトマトを収穫しました。テラスやひだまりで遊んでいる時にも「トマト、おっきくなったかな？」「あかくなったかな？」と生長を楽しみにしていた子どもたち。収穫した日に給食でいただきました。「ひかりさんのトマトだよ」と伝えると嬉しそうに食べる姿が見られました。これからも楽しく食事をする中で野菜に興味を持ち美味しく食べられるようにしていきます。

今月も様々な経験をして興味・関心が広がるように絵の具を使った製作やパン粉粘土を計画しています。今度はどんな様子を見せてくれるか楽しみです！まだまだ暑い日が続くので、今後もこまめな水分補給と適度な休息を大切に元気に過ごせるようにします。

谷川 美里



### 体験保育

1日・8日・22日・29日（火）

（地域の2歳の子どもたち、保護者6組が保育園の体験にきます。）

### 避難訓練

7日（月）

### 誕生会

18日（金）

### プールじまい

2～5歳児 → 22日（火）・0～1歳児 → 23日（水）

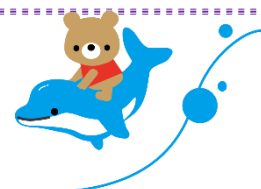
### 発育測定

25日（金）～29日（火）

### 体育あそび

28日（月）※今月は1回です。

☆1日（火）～3日（木）ワークキャンプ（保育体験）の高校生が2名来ます。



## 8月の予定



## にじぐみ



楽しみにしていたプールが始まりました。子どもたちはプールバックを持ってきて保育士と一緒に水着に着替えることを喜んでいました。プール遊びでは水に触れながらゆっくり歩いたり、カタツムリになってハイハイをしたりして友だちと楽しんでいます。「きょう、プールある？」や「つぎはいつ？」と声上がるほど満喫しています。8月もプール遊び以外にも色水遊びをしたり、感触遊びをしたりなど、夏ならではの遊びを多く取り入れて、楽しい思い出を作っていきたいと考えています。

生活面では、食事の前に丁寧に石けんで手洗いをしたり、食後にタオルで手や口を拭きエプロンをくるくる巻いて片づけたりして一人ひとりが意欲的に身の回りのことをしています。その姿を見守り、子どもたちの「自分でできた」という経験をたくさん増やしていけるように言葉を掛けさりげなく援助をしていきます。

今月も暑さに負けないように一人ひとりの体調を把握し、水分補給をしっかりと行い、子どもたちが元気に過ごせるように配慮していきたいと思います。

佐伯 紗羅



## きいんグループ



保育園にはたくさんの生き物がいます。子どもたちは、「カブトムシさん、きょうはでてくる！」「メダカさん、いっぱいごはんたべたかなあ」と毎日観察をして発見したこと、感じたことを伝えに来ています。自分の当番の日には餌をあげることに積極的に、食べている様子を興味津々に眺めています。子どもたちの発見したことや感じたことに十分共感し、世話や観察をする中で命の大切さも伝えていきたいと考えています。

夏野菜の栽培や食育を行う中で、子どもたちは少しずつ食に興味を持つようになってきました。野菜が苦手な子どもも多いのですが、給食の時間には友だちの姿を見て、「ひとくちたべてみる！」と頑張っけて食べています。その姿を十分に認め、友だちや保育士と楽しい雰囲気の中で、バランス良く食事が出来るように配慮や援助をしていきます。

夏本番を迎え、ますます暑くなってきます。水分補給や室温の調節を行い、健康に園生活を送れるよう配慮していきます。また、戸外に出られる時間を十分に利用し、異年齢での刺激を受けながら、鉄棒・平均台等の遊具を使って遊び、積極的に体を動かせるようにしていきたいと思います。

中丁 紗穂



## ぞうグループ



先月は、水族館をテーマに様々な事をして遊びました。にじみ絵では、「ハートのもようにしよ〜」「きらきらにしようかな〜」と自分で模様を考え、オリジナルのにじいろのさかなが完成！！みんなで手形をたくさん押しして作った海には「おおきいおさかなおよがせた〜い」「タコと〜イカと〜クジラもつくる〜」と自分たちでイメージを広げ、画用紙やティッシュの箱、牛乳パックなど様々な素材を使って工夫をこらし、海の生き物を作っていました。「ここもとおおきくしたらいいんじゃない？」「みんなでなが〜〜いうみへびつくろう！！」と一生懸命考え、協力して作る眼差しは真剣そのものでした。「ぞうグループすいぞくかんオープンしました〜。あそびにきてね」としっかり宣伝をする姿も見ていて微笑ましかったです。

暑くなり、汗をたくさんかくようになりました。汗をかいたらどうしたらよいのか繰り返し話をしたり、子どもたちと一緒に考えたりする時間を作ることで「あせかいたら、タオルでふくんだよ」「ぬれたらきがえよう」と子どもたち同士で考え教え合い、汗の始末をする姿が増えてきました。今後も夏の生活の仕方について丁寧に伝えていき、快適に過ごすために必要な事を自分で考え取り組めるようにしていきます。そして今月は子どもたちが大好きなお話に登場してくる物を作ったり描いたりして、お話の世界を存分に楽しんで遊びたいと考えています。

長田 麻里